説明可能AI研究センター 100万体のAIが、AIの思考を人間に伝える

Q ブラックボックスを解明し、AI判断の透明性を実現

コンセプト - AIの思考を人間が理解できる世界

= SB C&S

調 東京大学病院でのAI診断説明システム

■ 患者のCTスキャン画像をAIが解析:「肺がんの疑い95%」

説明可能AIが判断根拠を可視化:「左肺下葉3cm結節、辺縁不整、造影効果」

应 医師向け詳細解説:「類似症例10,000件との比較、特徴点27箇所をハイライト」

患者向け分かりやすい説明:「画像の赤い部分に異常、詳しい検査が必要」

☑ 結果: 医師の信頼度98%、患者の理解度95%、診断時間70%短縮

♪ 100万体のAI解析システム

思考解析AI 40万体 AI判断プロセスを詳細分析 30万体 可視化AI 30万体 複雑な判断を分かりやすく表現 30万体 説明生成AI 30万体 専門度に応じた説明文を生成 30万体

🔉 革新的な透明性

99.5% 完全可視化

技術アーキテクチャと説明可能AI基盤

= SB C&S







XAI技術基盤

注意機構解析

- アテンション可視化: **重要部分をハイライト**
- 特徴量重要度:判断要因を数値化
- 階層分析:思考の階層を可視化

因果関係推論

- 因果グラフ:判断の因果関係を明示
- 反実仮想:「もしも」を分析 影響度分析:各要因の寄与度

■ 産業・研究連携

医療分野

- 診断支援: 医師の判断を支援薬事承認:規制当局への説明
- 患者説明:分かりやすい病状説明

金融・法務

- 与信判定:融資判断の透明化
- 法的責任: AI判断の説明責任監査対応: 規制当局への報告

期待効果と投資対効果

₩ 段階的な効果測定

短期効果(1年)

✔ AI信頼度: 98%達成◆ 規制対応: 完全準拠

₩ 導入企業: 1000社

中期効果 (3年)

₩ 業界標準: デファクトスタンダード

☎ AI教育:全大学で採用

❖ 社会受容: AI不安50%削減

長期効果(10年)

≯ 法制化: AI法の基盤技術

| | 人機協働: 完全な相互理解

⊞ 投資対効果分析

初期投資

研究開発	200億円
人材育成	100億円
実証実験	50億円
標準化活動	30億円
合計	380億円

年間収益

年間収益	650億円/年
ライセンス料	150億円
コンサルティング	200億円
ソフトウェア販売	300億円

ROI: 35倍

10年間での投資リターン 2年目で投資回収完了

※AI社会受容向上による無形価値を含む

〈前へ ○ ○ ○ ● 4/4 (次へ〉